

# 特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会 第17期通常総会議事

2022年9月25日（日） 15:00～  
場所：オンライン会議システムzoom

## 議事次第

1. 開会（司会： ）
2. 理事長挨拶：清水善和
3. 総会成立の確認（報告：奥野玉紀）

	返信あり		返信なし	計
	出席	欠席・委任状提出		
正会員	12	23	23	58
比率	20.7%	39.7%	39.7%	100%
		60.3%		

4. 議長の選出：議長・清水善和
5. 議事録署名人の選出：
6. 議事（審議事項）
  - 6.1. 第1号議案：第17期（2021年7月1日～2022年6月30日）事業報告および収支報告
  - 6.2. 第2号議案：第18期（2022年7月1日～2023年6月30日）事業計画および収支予算
7. 質疑、意見等
8. 閉会

第17期の事業報告は、以下のとおりである。

※「担当」は、理事/監事/ボランティアを記載した（敬称略）。

<p><b>(1) ガラパゴスに関連する環境教育及び普及啓発に係る事業</b></p> <p>① 「ガラパゴス写真コンテスト2021」開催（9月）。応募作品数約32点。ガラパゴスの高校生も応募。選考は総会後に参加者の投票にて最優秀賞1点、優秀賞12点を決定。うち7点がガラパゴスの若者写真家クラブの作品だった。例年、この写真家クラブにカレンダーの収益の一部を寄付するが、昨年に引き続き今年も渡航できなかったため結果のみ報告。（注）1月のパネル展で写真を採用し、謝金としてまとめて送金した。</p> <p>② 「ガラパゴスカレンダー2022」制作・頒布。コンテスト優秀賞作品を採用。11月下旬に500部納品、発送開始。ウェブショップ等で頒布227部、会員配布110部、講演先学校等に進呈150部。現地に行けなかったことから、現地への進呈なし。残り約10部。制作担当：波形、里見、飯崎、奥野</p> <p>③ <b>講演活動</b>：ガラパゴスカフェ@名前はまだない珈琲店（東長崎、10/3、12/8、2/3、6/1）、千寿桜小学校6年生授業（足立区、10/6）、文教大学国際学部講義+Dr. Izurieta インタビュー+堀越和夫氏講義（小笠原）、（オンライン、11/5、6、7、14、16）、小笠原村母島中学校1年生授業（オンライン、12/13）、駒場小学校5、6年生授業（目黒区、12/16）、一の谷小学校5、6年生授業（あきる野市、12/20）、駒澤大学講義（世田谷区、12/22）、東京都小学校理科教育研修会講演（豊島区池袋、1/8）、「コーヒーが繋ぐ世界遺産支援」講演@スペースYou 愛（新宿区、3/2）、「世界遺産ガラパゴスの自然」講演@板橋区立熱帯環境植物館（3/5）、経団連自然保護協議会報告会（3/17）、「奥野さんのガラパゴス・ナイト mikibar」講演（中央区日本橋、4/6）、「ガラパゴスに学ぶ持続可能な社会の作り方」@東京都海外子女教育グローバル教育研究会（府中市、6/17）、他。※発表は全て奥野が対応。</p> <p>④ <b>コーヒープロジェクトの普及</b>：ガラパゴスコーヒーが日本で消費されることで、ガラパゴスのコーヒー農家の自立支援になり、日本でのコーヒーの売上の一部や寄付をチャールズ・ダーウィン財団に届けることで、現地ではコーヒー農家が外来種の駆除と植林を行い、保全が促進する循環の仕組み。賛同・協力してくださる方へアプローチした。また取り扱ってくださるカフェや焙煎する方へお話しをした（上記③参照）。</p> <p>⑤ 倉田智子さん著書「環境カウンセラーのガラパゴス見聞録」編集協力（6/30 出版）。</p>
<p><b>(2) ガラパゴスに関連する情報の収集および提供に係る事業</b></p> <p>① メディア対応：フジテレビ「世界の何だコレ？ ミステリー」（5/3 出演、6/22）、その他、電話での取材・問合せなどに対応。</p> <p>② ホームページのリニューアルオープン（8月26日）。全面リニューアル完了。2010年に当会が著者となって発行された「ガラパゴスのふしぎ」（ソフトバンククリエイティブ新書）のコンテンツを可能な限りそのまま公開し、ガラパゴスに関する情報の普及を試みた。担当：里見、奥野、他役員全員。写真提供：波形克則、森英章、他。</p> <p>③ SNSによる情報発信：現地の情報を引用した情報の発信を行った。約50記事を発信。担当：里見、奥野</p> <p>④ 会報（12月）の発行。担当：里見、飯崎、波形、奥野</p> <p>⑤ その他、企業や個別の問い合わせ対応、随時。</p>
<p><b>(3) 生態系等の環境問題全般に関する情報の収集及び提供に係る事業</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>(4) ガラパゴスにおける環境保全活動の実施及び支援に係る事業</b></p> <p><b>1) チャールズ・ダーウィン財団活動支援</b></p> <p>現在チャールズ・ダーウィン財団（CDF）では、チャールズ・ダーウィン研究所においておよそ20のプロジェクトがアクティブに実施されている。JAGAでは例年、ペンギン基金より寄付をいただき、CDFがガラパゴス国立公園局と行う固有海鳥3種（ペンギン、コバネウ、アホウドリ）の生態調査を支援しており、2021年度もこれを支援すると共に、その他のプロジェクトで不足しているところに、研究所裁量で分配してもらうようにした。CDFの予算は、コロナ禍で研究所を閉めていた期間があったことから自主事業収入（売店での売上）は減少したが、2020年の決算では収入は例年通りとなっている。</p>

## 2) スカレシアの森林再生プロジェクト支援

2021年度は、BESS フォレストクラブ、SOMPO ちきゅう倶楽部などの団体、また JAGA 会員や一般の方、ガラパゴスコffeeを購入したカフェや消費者の方などからの寄付で、サンタクルス島高地のスカレシアの森林再生事業を支援した。サンタクルス島の高地にはかつてガラパゴスの固有植物スカレシアの森が広がっていたが、外来植物の繁茂により現在ではその面積が1%未満にまで減少している。高地には居住農耕地（私有地）が広がっており、CDF では、居住者（主に農家）と共に、外来種を駆除してスカレシアを植えるプロジェクトを進めている。農家にとっても外来種は農業を阻害する原因にもなっており、CDF では賛同農家に働きかけをしている。2021年度は、賛同した3農家と共に試験的プロジェクトを進め、残りが8haになった居住区内のスカレシア林を、約0.8ha（10%）増やすことができた。今後も賛同農家の参画を促していく。また、イサベラ島では同じ高木スカレシアのホルダータ種が、サンタクルス島高地よりも深刻な状況にある。JAGAの仲介により、CDFから直接申請をした経団連自然保護基金の助成金が本年も採択され、支援が続いている。



ナタで外来種のエレファントグラスを駆除する農家の方たち

## 3) チャールズ・ダーウィン研究所ライブラリーデジタルプロジェクト支援

2019年度より始まった、CDF 図書室の視聴覚資料のデジタル化事業。前田建設工業株式会社（東京）の支援により、5ヶ年の継続した支援3年目。デジタル化した資料を「ガラパゲアーナ Galapagueana」というサイトにまとめ12月に公開することができた。以下のURLから見る事ができる（スペイン語と英語の2カ国語対応）。

<https://galapagueana.darwinfoundation.org/home.html>

### (5) ガラパゴスに関連する国際協力に係る事業

特になし

### (6) 調査研究の実施、支援、及び研究者の支援に係る事業

特になし

### (7) ガラパゴスに関連する諸機関の運営又は活動に関する連絡、助言、援助に係る事業

① CDF のマングローブフィンチ (Mangrove Finch) の保全チームプロジェクトリーダーを招いたオンラインミーティング第2回目をNPO法人小笠原自然文化研究所と共に開催(11月30日)。ガラパゴスで現在「最も絶滅に近い鳥類」とされるマングローブフィンチは、15年に渡り域外繁殖と生息域の保全が行われており、同じく絶滅の危機にある小笠原固有の陸鳥オガサワラカワラヒワの域外繁殖が進む中、様々な情報交換ができた。

② 東京都とチャールズ・ダーウィン財団の連携協定に係わる事業は、都から委託という形で「初代世界遺産登録地ガラパゴス諸島に学ぶ海洋島の環境保全」と題してウェブ講演会(1月15日@環境省小笠原世界遺産センター&オンライン)および写真パネル展(@東京都小笠原ビジターセンター1/14~3/26)を行った。リアルタイムでの視聴者は100名ほどで、その後You Tubeで公開している。

<https://www.youtube.com/watch?v=0jtxDz2uM0> (ライブ映像)

[https://www.youtube.com/watch?v=v\\_85agNpX7I](https://www.youtube.com/watch?v=v_85agNpX7I) (編集済字幕版)

パネル展は「ガラパゴス写真展—子どもたちが撮った世界自然遺産」と題して、例年写真コンテストに応募してくれるガラパゴスの若者写真家クラブから写真を借りてパネルを作成した。またJAGA監事の波形氏からJAGAに寄贈されたゾウガメの等身大レプリカも会場に展示された。コロナ禍で会場への入場が制限される中であつたが、多くの住民の方や観光客の方に見ていただくことができた。

③ 東京都事業2022、2023年度企画・立案・検討・計画作り。2022年度は予算化決定。2023年1月に実施予定。

### (8) その他、本会の目的を達成する上で必要な事業

■企業との協働やコラボレーションの提案など。

■その他ファンドレイジングのための活動。

【謝意】上記以外のボランティアの皆さん：赤間亜希、今野杏里、柴田一輝、飯崎晶子、他。および理事・監事（敬称略）

科目	金額(円)		
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
正会員受取会費	300,000		
その他会員受取会費:個人/団体協力会員、学生会員	264,000	564,000	
2 受取寄付金			
一般寄付	287,800		
特典寄付:カレンダー、コーヒー	355,088		
特定寄付:			
BESSフォレストクラブ支援協賛金	1,000,000		
前田建設工業株式会社支援金	500,000		
帝人株式会社ボランティアサポートプログラム	100,000		
SOMPOちぎゅう倶楽部	100,000		
ペンギン基金	50,000	2,392,888	
3 受取助成金	0	0	
4 事業収益			
普及啓発事業:講演等	160,000		
情報提供事業:番組監修等	41,000		
東京都チャールズ・ダーウィン財団連携協定事業委託金	2,821,500	3,022,500	
5 その他収益			
受取利息	12	12	
<b>経常収益計</b>	5,979,400	5,979,400	<b>5,979,400</b>
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) ガラパゴスに関連する環境教育及び普及啓発に係る事業 カレンダー事業、コーヒー事業、講演等	478,437		
(2) ガラパゴスに関連する情報の収集及び提供に係る事業 ホームページ、会報、SNSによる発信と情報収集	567,461		
(3) 生態系等の環境問題全般に関する情報の収集及び提供に係る事業	0		
(4) ガラパゴスにおける環境保全活動の実施及び支援に係る事業			
1)チャールズ・ダーウィン財団活動支援	459,407		
2)スカレシアの森林再生P支援	1,531,803		
3)チャールズ・ダーウィン財団図書室デジタル化P支援	500,000		
	2,491,210		
(5) ガラパゴスに関連する国際協力に係る事業	0		
(6) ガラパゴスに関連する調査研究の実施、支援、及び研究者の支援に係る事業	0		
(7) ガラパゴスに関連する諸機関の運営又は活動に関する連絡、助言、援助に係る事業 東京都とチャールズ・ダーウィン財団連携協定締結事業	1,730,189	5,267,297	
2 管理費			
シェアオフィス利用費	107,690		
事務局運営委託費	600,000		
決済システム費	66,596		
通信費	65,581		
会議費	3,324		
交通費	19,932		
消耗品費	21,873		
保険料	6,853		
雑費	18,000		
事務手続き費	2,170	912,019	
<b>経常費用計</b>		6,179,316	<b>6,179,316</b>
当期経常増減額			<b>-199,916</b>
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			<b>-269,916</b>
前期繰越正味財産額			<b>3,507,263</b>
次期繰越正味財産額			<b>3,237,347</b>

## 2021年度 計算書の注記

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

## 1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

## (1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。

## 2.事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	(1)環境教育 普及啓発事	(2)情報提供 収集事業	(4)保全支援 事業	(7)東京都連 携協定事業	事業部門計	管理部門計	合計
I 経常収益							
1.受取会費						564,000	564,000
2.受取寄附金	355,088	200,000	1,837,800		2,392,888		2,392,888
3.受取助成金等							0
4.事業収益	160,000	41,000		2,821,500	3,022,500		3,022,500
5.その他収益						12	12
経常収益計	515,088	241,000	1,837,800	2,821,500	5,415,388	564,012	5,979,400
II 経常費用							
1.事業費							
(1)普及啓発事業	378,437			100,000	478,437		478,437
(2)情報収集提供事業		267,461		300,000	567,461		567,461
(4)保全支援事業							
CDF活動支援				459,407	459,407		459,407
スカレシア森林再生			1,531,803		1,531,803		1,531,803
CDF図書館デジタル化			500,000		500,000		500,000
(7)東京都連携協定事業				1,730,189	1,730,189		1,730,189
2.管理費				400,000	400,000	512,019	912,019
経常費用計	378,437	267,461	2,031,803	2,889,596	5,667,297	512,019	6,179,316
(事業別)当期経常増減額	136,651	-26,461	-194,003	-68,096	-251,909	51,993	-199,916

## 3. 使途が制約された寄付金等の内訳

使途が制約された寄付金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

当法人の正味財産は3,237,347円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

(円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
BESSフォレストクラブ 支援協賛金	0	1000000	1000000	0	全額を、スカレシア林再生事業に使用しました。
前田建設工業株式会社 支援金	0	500000	500000	0	全額を、チャールズ・ダーウィン研究所図書室 デジタル化支援事業に使用しました。

## 4. 役員及びその近親者との取引内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	うち役員および近親者との取引引き
(活動計算書経常収益)		
・受け取り会費	564,000	140,000
・受取寄附金	2,392,888	106,650
・事業収益	3,022,500	110,000
(活動計算書経常費用)		
：情報提供事業	567,461	50,000
：東京都協定事業	1,730,189	558,570
・管理費	912,019	600,000

第17期(2021年7月1日～2022年6月30日) 特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表

2022年6月30日現在

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,752,657	
未収金(緑の募金)	1,467,000	
前払金(シェアオフィス利用料)	107,690	
流動資産合計		3,327,347
2 固定資産		
土地	0	
建物	0	
車両運搬具	0	
固定資産合計		0
資産合計		3,327,347
II 負債の部		
1 流動負債		
未払法人住民税等	70,000	
前受会費	20,000	
流動負債合計		90,000
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		90,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		3,507,263
当期正味財産増減額		-269,916
正味財産合計		3,237,347
負債及び正味財産合計		3,327,347

第17期(2021年7月1日~2022年6月30日) 特定非営利活動に係る事業 会計財産目録

2022年6月30日現在

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	159,355	
普通預金 みずほ銀行青山支店	307,960	
普通預金 三井住友銀行渋谷駅前支店	691,620	
郵便振替口座 ゆうちよ銀行	122,763	
PayPay銀行	470,959	
未収金(緑の募金)	1,467,000	
前払金(シェアオフィス利用料)	107,690	
流動資産合計		3,327,347
2 固定資産		
土地 所在 m <sup>2</sup>	0	
建物 所在 m <sup>2</sup>	0	
車両運搬具 乗用車 台	0	
固定資産合計		0
資産合計		3,327,347
II 負債の部		
1 流動負債		
未払法人住民税等	70,000	
前受会費	20,000	
流動負債合計		90,000
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		90,000
正味財産		3,237,347

## 第 18 期 2022 年度（2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日）事業計画

第 18 期（2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日）の事業方針及び事業計画は、以下のとおりである。

### (1) 環境教育・普及啓発事業

日本においては、講演活動や子どもたちへの出張授業等を通じて、ガラパゴスの生態系やそれを守る社会の仕組みについて伝えると同時に、日本の環境保全や持続可能な社会に向けた取り組みに対して情報を提供したり、啓発を促進したりする。また日本とガラパゴスを繋げる様々な活動により、企業・団体間や個人間の関係性を深め、ガラパゴスにおける保全事業への支援に繋げる。また自然管理や観光管理について、ガラパゴスの事例を紹介し、日本の世界自然遺産地域の管理の参考となる情報を提供する。

- \* ガラパゴスと小笠原の人的交流、情報交換を行う。※（7）の CDF と東京都の連携協定に基づく事業とも連動。
- \* 「ガラパゴス写真コンテスト 2021」開催、および「ガラパゴスカレンダー 2022」制作、発行。ファンディング／普及や環境教育ツールとしても活用する。
- \* ガラパゴスコffeeに関して、JAGA が進めるプロジェクトの推進のために、coffee豆輸入者との協働や販売の促進、また産地偽装品一掃のための取り組みなどを進める。
- \* 「体験学習ツアー」を企画する。
- \* その他、教育機関等での講演、講師の派遣、出版物への原稿執筆や翻訳、監修など。

### (2) 情報収集提供事業

ガラパゴス現地の情報を正確に収集すると共に、正しい情報を分かりやすく、手軽に閲覧できる媒体で提供する。

- \* リニューアルしたホームページの活用。ガラパゴスの情報を積極的に発信する。
- \* メルマガ、ホームページ・SNS を活用した会員や一般向けの情報発信に力を入れる。
- \* 会報発行を継続する。（年 2 号）
- \* 教育・科学機関、科学番組への協力・監修、マスコミ対応、情報・写真提供など、随時。

### (3) 環境問題全般情報収集提供事業

近年関心の高まる海洋廃プラ、温暖化、リサイクル、SDGs などについて、情報収集・提供する。

### (4) ガラパゴスの環境保全活動の支援

前年度に引き続き、CDF の行う海鳥生態調査、スカレシアの森林再生事業、CDF 図書館資料デジタル化事業を支援する他、CDF が行っている他の活動も支援する。必要に応じて島民団体や教育団体の草の根活動などへの支援を行う。現地との連絡を密にするほか、状況が許せば、現地への視察を実施し、ガラパゴスの現状やニーズについて把握し、必要な支援を行う。

### (5) 国際協力事業

ガラパゴスのゴミ問題の解決に向け、JICA や東京都環境局との連絡・連携を強める。

### (6) 調査研究支援事業

保全研究において、研究者や関係者同士を継続して繋ぎ、情報交換できる仕組みを作る。

### (7) 現地諸機関の運営支援事業

東京都からの委託事業として、ガラパゴスと小笠原を繋ぎ、保全を促進する。2022 年度はガラパゴスから保全従事者を招へいする事業を計画している。

### (8) その他、本会の目的を達成する上で必要な事業

- ・企業や公的機関との関係を強化し、協働事業や支援の働きかけを行う。
- ・NPO を対象にした企業のサービスを活用する。



2022年度 活動予算書

第18期(2022年7月1日から2023年6月30日まで)

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

科目		金額(円)	
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
受取り会費	700,000	700,000	
2 受取寄付金			
一般寄付金	1,000,000		
特典寄付金	1,000,000		
使途限定寄付	1,500,000	3,500,000	
3 受取民間助成金			
企業助成金、補助金など	500,000	500,000	
4 事業収益			
普及啓発事業	200,000		
情報提供事業	200,000		
東京都委託事業	7,000,000	7,400,000	
5 その他収益			
受取利息など	1,000	1,000	
経常収益計		12,101,000	<b>12,101,000</b>
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) ガラパゴスに関連する環境教育及び普及啓発に係る事業 カレンダー事業、コーヒー事業	1,000,000		
(2) ガラパゴスに関連する情報の収集及び提供に係る事業 ホームページ、メールマガジン発行など	260,000		
(3) 生態系等の環境問題全般に関する情報の収集及び提供に係る事業	0		
(4) ガラパゴスにおける環境保全活動の実施及び支援に係る事業			
1)海鳥調査・海洋保全事業	300,000		
2)スカレシア林再生事業	3,000,000		
3)ダーウィン研究所図書室デジタル化支援事業	500,000		
4)ダーウィン研究所運営支援	300,000		
	4,100,000		
(5) ガラパゴスに関連する国際協力に係る事業			
(6) ガラパゴスに関連する調査研究の実施、支援、及び研究者の支援に係る事業			
(7) ガラパゴスに関連する諸機関の運営又は活動に関する連絡、助言、援助に係る事業 東京都とチャールズ・ダーウィン財団連携協定関連事業	5,200,000		
		10,560,000	
2 管理費			
シェアオフィス利用費	120,000		
事務局運営管理費	960,000		
決済システム費	100,000		
通信費	100,000		
交通費	70,000		
会議費	70,000		
雑費	51,000	1,471,000	
経常費用計			<b>12,031,000</b>
当期経常増減額			<b>70,000</b>
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			<b>3,237,347</b>
次期繰越正味財産額			<b>3,237,347</b>

# 特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会 第17期通常総会議事録

2022年9月25日（日）15:00～16:30

場所：オンライン会議システムzoom

## 議事次第

1. 開会（司会：櫻 博子）
2. 理事長挨拶：清水善和
3. 総会成立の確認（報告：奥野玉紀）

本日の総会は、下記の通り、定款所定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げた。

	返信あり		返信なし	計
	出席	欠席・委任状提出		
正会員	12	25	21	58
比率	20.7%	43.1%	36.2%	100%
		63.8%		

4. 議長の選出：議長・清水善和  
議場において議長の選任を諮ったところ、満場一致をもって清水善和が選任され、議案の審議に入った。
5. 議事録署名人の選出：  
議事録署名人として、本人より、櫻博子氏、奥野玉紀氏を推薦したいとの提案があり、議場に諮ったところ、満場一致をもって承認された。
6. 議事（審議事項）
  - 6.1. 第1号議案：第17期（2021年7月1日～2022年6月30日）事業報告および収支報告
  - 6.2. 第2号議案：第18期（2022年7月1日～2023年6月30日）事業計画および収支予算

### 議事の経過の概要および議決の結果

事務局長の奥野玉紀より、第1号議案について説明があり、その後監事の枝松氏、波形氏より会計監査の結果の報告があった。続いて第2号議案についても奥野より説明があり、議長は理事会より本2案について付議された旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

## 7. 質疑、意見等

現地の観光再開後の状況やガラパゴスを取りまく現状について報告があった。

## 8. 閉会

以上をもって第17期通常総会の全ての議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し、16時30分に散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において、次に記名押印する。

令和4年9月25日

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会社員総会において

議長 清水 善和

議事録署名人 櫻 博子

同上 奥野 玉紀

※本書は複写であり押印は省略する。